

新規認定「農の匠」

「農の匠」(京都府農山漁村伝承優秀技能)



伝承技能登録された中から、希少価値が高く優秀な技能保持者を京都府が認定しています。

福井 靖さん (木津川市)

つやがた
ナス品種「艶姿」の
高品質多収栽培

令和元年度 京都府農林水産業功労者表彰

村田 清美さん	(城陽市)
奥西 良啓さん	(八幡市)
川邊 隆司さん	(木津川市)
中岡 基裕さん	(木津川市)
山崎 徳一さん	(木津川市)

受賞おめでとうございます

令和元年度 京都府若手農林漁業者表彰

岡 崇嗣さん	(宇治市)
上田 芳樹さん	(久御山町)
上田 麻由さん	(久御山町)
寺内 優介さん	(久御山町)
大川 敬剛さん	(宇治田原町)
久保見 和弘さん	(和束町)

令和元年度 新規認定京都府農業士

○指導農業士

氏名	市町村名	部門
吉田 修平さん	宇治市	茶
岡井 雄次さん	城陽市	湧水花き
木村 正樹さん	城陽市	果樹、水稲
米田 五司さん	京田辺市	茶、野菜、水稲
清水 弘明さん	精華町	野菜

よろしくお願ひします

令和元年度 農山漁村伝承技能登録

京都府では、豊かな経験と技により保持されている農・林・水産業の生産・生活技術を広く公募し、審査の上、認定しています。

氏名	市町村名	登録技能名
小島 佳剛さん	宇治市	宇治品種の特性を活かした宇治碾茶の生産
辻 喜代一さん	宇治市	ほんず栽培による宇治碾茶の生産
加藤 雅美さん	京田辺市	一休納豆の製造

茶品評会審査結果

☆第72回 関西茶品評会

<農林水産大臣賞>

普通煎茶	中窪 耕司さん	(南山城村)
玉露	山下 新貴さん	(京田辺市)
てん茶	太田 さおりさん	(城陽市)

<産地賞>

普通煎茶	南山城村
玉露	京田辺市
てん茶	城陽市

☆第73回 全国茶品評会

<産地賞>

てん茶	宇治市
-----	-----

受賞おめでとうございます

○女性農業士

氏名	市町村名	部門
里西 恵さん	京田辺市	野菜、水稲
赤穂 海佳さん	木津川市	水稲、野菜

○青年農業士

氏名	市町村名	部門
山下 新貴さん	京田辺市	茶、野菜、水稲
森上 翔太さん	木津川市	野菜

園芸ハウス台風対策マニュアルについて

近年、これまでにない記録的な暴風でパイプハウスの倒壊が頻発しています。京都府では、国の研究機関や防災、気象の専門家を交えた対策チームを設置し、科学的な根拠に基づいた対策マニュアルを作成しています。パイプハウス等の暴風被害の未然防止・軽減のためにご活用ください。

「京都府 園芸ハウス台風対策マニュアル」で検索してください。

お知らせ センターの取組

◎就農相談会(予約制) 毎月第3木曜日開催

◎令和2年度 就農者基礎講座

令和2年11月から開催予定

※詳細は、普及センターまでお問い合わせください。

やましろ

2020年2月

第26号



普及センターだより

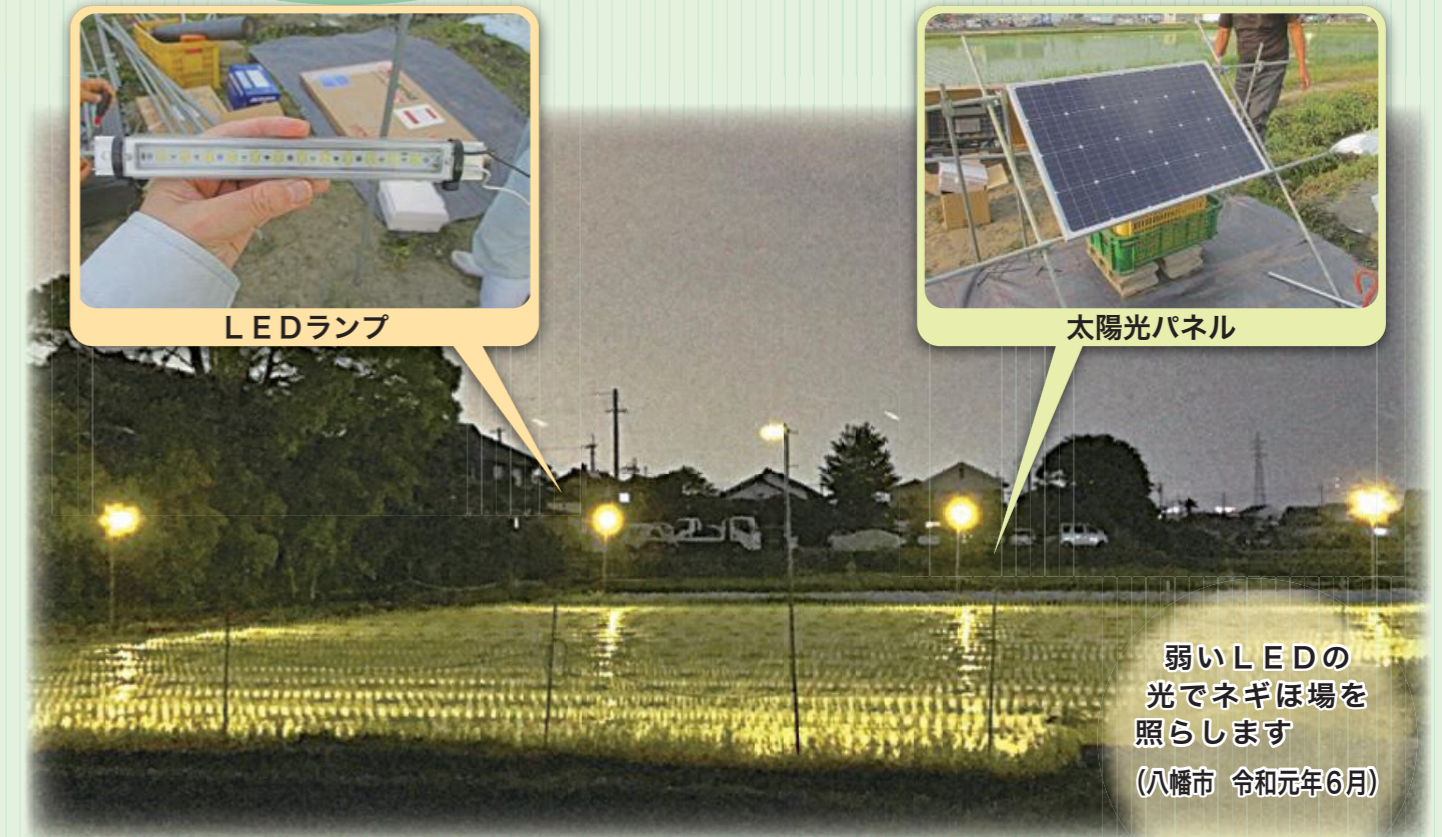
新しい光防除技術 ~LED光でネギを守る~



LEDランプ



太陽光パネル



弱いLEDの光でネギほ場を照らします
(八幡市 令和元年6月)

農作物に被害を及ぼす夜蛾類に対しては、黄色蛍光灯を夜間点灯する防除技術があり、府内でも果樹や野菜などで一部導入されています。しかし、交流電源があるほ場に限り、広く普及するまでには至っていません。

そこで、交流電源がないほ場でも点灯できる黄色LEDランプと太陽光パネルをセットしたシステムを使い、夜蛾類の一種であるシロイチモジヨトウの防除効果を実証しました。

京都府山城北農業改良普及センター

〒610-0331 京田辺市田辺明田1 TEL.0774-62-8686

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/fukyu/> からどうぞ

京都府山城南農業改良普及センター

〒619-0214 木津川市木津上戸18 TEL.0774-72-0237

~ 余裕のある作業で、事故を防ぎましょう! ~

黄色LEDを利用した防除

山城管内で作付面積が増加しているネギでは、近年夏以降に多発する「シロイチモジヨトウ」幼虫による被害が問題となっています。(図1、右の写真)



シロイチモジヨトウの食害痕

シロイチモジヨトウやオオタバコガなどの夜蛾類は、夜に活動する習性があります。黄色灯の夜間点灯は、夜蛾類に日中であると勘違いさせて行動を抑制し、被害を抑える防除方法です。

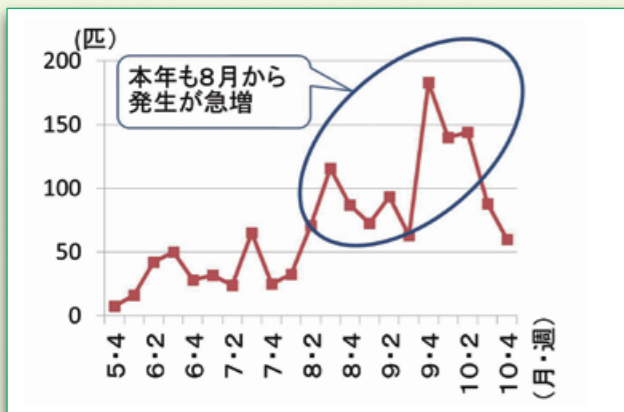


図1 シロイチモジヨトウの発生の推移 (フェロモントラップでの誘殺数：令和元年、八幡市実証ほ場と同地域)

【実証結果】

8月14日に定植したネギほ場(面積11a)に黄色LEDランプ8基を設置し(表紙写真)、9月5日から10月23日までの間16時30分~翌朝7時に夜間点灯し(点灯区)、8月20日定植で点灯しないほ場(非点灯区)とシロイチモジヨトウの被害を比較すると、点灯区は非点灯区より低く抑えられました。(図2)。

協力いただいた生産者は他のほ場でも作付けされていますが、「実証ほ場は他のほ場と比べ被害が少なく、防除体系に組み入れる有効な技術だ」と評価されています。

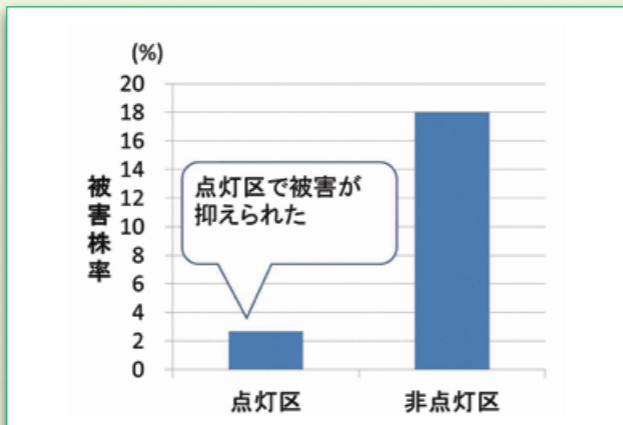


図2 被害株率 (10/23 調査) (両区とも農薬防除は慣行で実施)

太陽光パネルを利用するので、ほ場を選ばず移設も可能です。本実証の経費(材料費)は16万円程度でした。

詳しい内容については普及センターにお問い合わせください。

マルチローター・ドローンを利用した農薬散布

京都府では、生産現場に最適なスマート農業技術の普及に向けた取組みを展開中です。農業用マルチローターはその扱いの容易さから、全国では土地利用型作物を中心に農薬散布への利用が平成31年3月現在で、延べ31,020ha、機体登録数は1,552機、認定オペレーターは5,799人と、いずれも前年の2倍以上に急激に拡大しています。

農水省も令和元年7月に、マルチローターによる農薬の空中散布の普及に対応し、散布者が安全かつ適正に使用するため「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」を制定しています。

農水省ホームページ「無人マルチローターガイドライン」で検索

機種や使用農薬の散布量にもよりますが、わずか10分で1haの農薬散布が可能で、大幅な省力化が図れます。

現在のところ、マルチローターを使用して散布可能な登録農薬の多くは土地利用型作物が対象であり、野菜や茶などの品目では登録農薬が少なく、登録の拡大が待たれます。



ドローンによる農薬散布

経営のステップアップを目指して

最近の相談事例

直売イチジクの販売を強化!

城陽市 株式会社森島平兵衛農園

【課題】

自身の直売所に足を運んでいただき、美味しい完熟イチジクを食べてもらいたい。そのためにはどうしたら良いのか?

【成果】

情報発信や直売所づくりを得意とする専門家を派遣依頼し、「魅力的な直売所とするためのポイント」や「SNS活用法」等のアドバイスを受けました。

直売スペースの改善や、SNSやHPの内容を変更したところ、来客数が昨年より倍増し、経営改善につながりました。



リニューアルしたホームページサイトで情報発信

山城地域では企業的经营を目指す農業者が増えており、その目標は「栽培面積を広げて売上向上」、「自社農産物をブランド化して販路開拓」、「加工品を作り有利販売」など様々です。

普及センターでは、それぞれの課題にあった専門家とともに相談にあたっています。

完熟果実の加工品に新たな販路を!

宇治市 佐原農園株式会社

【課題】

昨年、完熟させた赤色の伏見トウガラシのケチャップを地元企業とのコラボレーションで商品化したが、どうすれば有利販売できるか?



↑ 専門家から販路拡大を学ぶ
← 伏見トウガラシケチャップ

【成果】

販路拡大に詳しい専門家を派遣依頼し、初めて挑戦する「商談会への準備」と、「商品の魅力をアピールする方法」のアドバイスを受けました。

商談会では、自社製品の魅力を具体的に伝えることができ、販路拡大につながりました。

地域ぐるみで茶業の担い手確保を進めています

山城地域の相楽東部の茶産地では、担い手の高齢化と後継者の不足で茶業経営の継続が困難になる農家もでてきています。

これまでは、近隣の茶農家が管理出来なくなった茶園を引き受けて栽培管理を継続してきましたが、更なる引き受けが難しくなる状況が目前に迫っており、産地内の茶園の維持に向けた新たな取り組みが必要となっています。

そこで、南山城村では村外からの茶業就農希望者を受け入れるべく、地域ぐるみで担い手を育成・定着させるための環境整備と仕組みづくりがすすめられています。

普及センターでは今年度から、茶業研究所が実施する宇治茶実践型学舎と連携しながら、南山城村における新たな担い手が確保できるよう支援しています。

